

# TOHATSU

# PARTNER

2007年1月1日発行／新年号

# VOL.71



Photo:第20回全国消防操法大会

## CONTENTS

- 2007年 年頭所感…………… P.2
- 横浜市へ消防ポンプ34台納入…………… P.3
- 岡崎市へ消防ポンプ4台納入…………… P.3
- 岐阜県の消防学校でポンプ講習会…………… P.3
- 全国消防操法大会 VCPRO 上位独占…………… P.4
- 横浜／西宮の両市でフローティングポートショー …… P.5
- 思い出つきない“ツインアロー号”…………… P.5

- 中部ブロックでTLDI 115A技術講習会…………… P.6
- 酒沼でミニポートフェスティバル2006…………… P.6
- 佐渡島の産業祭に船外機出展…………… P.6
- 西会津町消防団がトーハツ駒ヶ根工場を見学…………… P.7
- 防災関連の展示会へ出展ラッシュ…………… P.7
- 北京防災展にトーハツポンプ出展…………… P.7
- 新商品紹介 (MD115A)…………… 裏表紙

## 年頭ご挨拶

平成19年の輝かしい新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平素パートナーをご愛読の皆様には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。新年を迎えられ誓いを新たに、希望や夢を託されている方もいらっしゃるものと拝察いたしております。

さて、今年は弊社トーハツ株式会社にとって大きな節目の年であります。1932年10月にタカタモーター製作株式会社として設立された弊社は、今年75周年を迎えることになりました。75年、言い換えれば4分の3世紀、製品をご使用頂いてきたお客様、また本社部内、開発部内、生産部内、営業部内に関係し75年の間弊社を支えて頂いた皆様方には心からお礼申し上げます。またその長い社史において、その時代、その場面において会社を支えてきた先輩諸氏のご尽力に対して改めて敬意を表すると共に、歴史の重みを肅々と感じているところでございます。

1932年公司設立から未来永劫に続く長い社史の上では一通過点に過ぎませんが、75周年を迎えた現在の弊社を取り巻く環境について考えてみますと、すべてが国という民族の形成単位を超えた国際化の渦の中にいると言っても過言ではありません。その一つとして2008年に導入が叫ばれている日本版SOX法も、今後すべての企業に運用される可能性もあり、企業の内部監査制度、内部統制を充実させるために一層のIT化が求められてきます。また国際競争力強化を背景とした製造コストの削減はますます激しくなると考えられ、製造資源調達国際化もこれに比例して拡大して行くことになります。

今求められているものは、このような時代に耐えうる企業体質の構築であります。確固たる企業倫理のもとに、社会貢献、顧客満足という企業理念を堅持し、更に大きく飛躍し、製造メーカーとしての責任を果たしていくことが大切です。

私は社長就任時に、「スピード」、「チャレンジ」、「ヒューマン」、というキーワードを基にトーハツの全社員が夢を創造し、たえず新たな目標に向かって邁進することを切望してきました。今年がこのキーワードを基にした創造が大きく膨らむきっかけの年になり、会社設立80周年、更に90周年、100周年への架け橋となることを望んでおります。

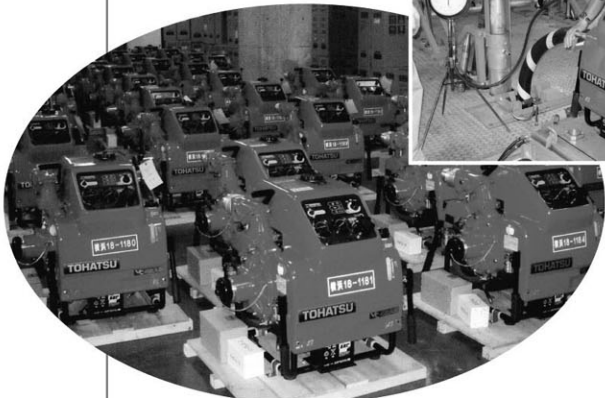
最後になりましたが、今年も皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本年がそれぞれの皆様の希望や夢が成就する年となり、そして幸多く充実した一年となることを衷心よりお祈り申し上げます。



トーハツ株式会社  
代表取締役社長 金子 満

# 横浜市消防局へ VC42AS、34台を納入



横浜市消防局では、今期トーハツ消防ポンプVC42AS 34台の採用を決定しておりましたが、去る10月5日、同市南消防署へ2台納入したのを皮切りに、10月15日までに市内17消防署管轄の各消防団へ、全34台が納入・配備されました。

この度の納入にあたって、去る9月25日には、同市安全管理局の係員、及び販売店の横浜防災(株)、米山商事(株)の米山専務、君島氏、そしてトーハツなど立会いの下にトーハツ駒ヶ根工場で完成品検査が実施され、今回の納入となったものです。

完成検査では、性能測定も行われ放水運転で各種確認が行われました。港横浜を災害から守るため、少しでも消防の力になればと思います。

ご採用いただいた横浜市消防局様には深く感謝すると共に、販売にご尽力いただいた横浜防災様、及び米山商事様の両社には厚くお礼申し上げます。

(防災営業部)

# 愛知県岡崎市へVC42A消防ポンプ4台納入

徳川家康公の生誕の地として知られる愛知県岡崎市へ、去る12月12日、トーハツ消防ポンプ「VC42A」4台が納入され、それに伴うポンプ交付式が、同日、市及び消防関係者多数出席のもと行われました。この度の納入は、従来使用してきたポンプの更新事業の一環として行われたものですが、今回はポンプを車輛に積載するためのレールの改造が加えられています。



岡崎市は家康公生誕の土地柄から、歴史を刻んだ由緒ある建築物が多く、消防団の防災意識がとりわけ高い地域です。交付式後のポンプ試運転では、排煙の少なさについて消防団の方々から賛辞を頂きました。同市の消防関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

(防災中部/志津川)

# 岐阜県の消防学校で 可搬消防ポンプ講習会

岐阜県下の消防団員に可搬消防ポンプの扱い知識を深めてもらおうと、去る11月18日から2日間、岐阜県消防学校で講習会が開かれました。内容は、可搬ポンプの基礎知識から運用面まで実技体験を交えながらの講習会とあって、県下から消防団員が大勢参加。盛況を極めました。

今回は、トーハツが新開発した4ストロークエンジ

ン搭載の可搬消防ポンプも披露され、その始動性能やエンジン音の静粛さにびっくり。消防団員の中には、さっそくポンプを携帯電話のカメラに収めて、参加できなかった仲間の団員にメール送信する風景も見られました。

また運用面の取り扱い方では、同県は山林火災が多いこともあって中継送水時の注意点に重点を置き、キャビテーション発生時の対応、及び対処法など実際にポンプを運用しながら研修。貴重な体験として好評裡に終了しました。

(防災中部/志津川)



# 第20回 全国消防操法大会

## 阪神・淡路大震災を教訓に 兵庫県で初の開催

秋真っ盛り。快晴に恵まれた去る10月19日、兵庫県三木市にある県立広域防災センターで第20回全国消防操法大会が開催され、各都道府県代表の消防団チームによる「操法日本一」をかけた熱戦が展開されました。開催20回目を迎えたこの記念すべき大会が、阪神・淡路大震災の発生から10余が経過し、厳しい復興の道を行ってきたご当地・兵庫県で開かれたことは大変意義深いものがあります。これに呼応するかのように出場チームの各選手も奮起。地元関係者の心のこもった応援に応えるなど、20周年記念にふさわしい盛り上がった大会となりました。

小型ポンプの部では、出場23チーム中18チームがトーハツポンプを使用。とりわけ東北ブロックでは全チームが「VC72PRO」での出場となるなど、改めてこのポンプの人気と信頼性の高さに驚嘆させられました。

一方競技の方では、午後になって好タイム41秒台を記録するチームが続出。ちなみに岐阜県神戸町消防団チームが41.31秒。更に岡山市消防団チームがそれを上回る41.18秒を記録し、総合得点84.00。この得点は先に好得点を上げていた愛知県チームと並ぶ高記録でトップグループを形成。しかもこれで



**出雲市出雲消防団が初優勝！  
「VC PRO」使用チーム  
上位三賞を独占！**



決まりかと思われていた矢先、17番目に出場した島根県出雲市出雲消防団チームが、VC72PROを自在に操作し一糸乱れぬチームワークでタイム42.68秒、得点86.50を獲得して単独トップに躍り出るという波乱含みの展開になりました。そしてこの後、同じくVC72PROで出場した地元兵庫県代表・神戸町消防団チームが、ヒートアップする応援団の声援に応え一発奮起。タイム42.90秒、得点86.00をマーク。優勝した出雲市出雲消防団チームに続き、岡山市消防団と共に堂々の準優勝に輝きました。

さて、その他で話題を呼んだのがみごと優良賞に入賞した東京都代表の大森消防団。チームの女性選手・藤野恵子さんは男性主体の全国消防操法大会では、もちろん初めての紅一点。しかも同チームの藤野宏光さんは彼女のご主人。また団長の藤野秀男さんは恵子さんのお父さんと言う、ほほえましい消防一家。親子三人揃い踏み初出場も、大いに話題を呼んだ今大会でした。

最後になりましたが優勝・準優勝を獲得した3チームの皆様、誠にありがとうございます。またトーハツポンプで出場された全国消防団チームの皆様には、誌面を借りて厚くお礼申し上げます。  
(防災営業部)



### 第20回 全国消防操法大会成績

成績	県名	消防団名	使用ポンプ
優勝	島根県	出雲市出雲消防団	VC72PRO
準優勝	兵庫県	神戸町消防団	VC72PRO
準優勝	岡山県	岡山市消防団	VC72PRO
優良賞	岐阜県	神戸町消防団	VC72PRO
優良賞	群馬県	昭和村消防団	VC72PRO
優良賞	東京都	大森消防団	VC72PRO
優良賞	青森県	十和田市消防団	VC72PRO
優良賞	奈良県	吉野町消防団	VC72PRO

# 横浜ベイサイドマリーナで 2006 フローティングボートショー



10月7日～9日の3連休に、今年も横浜ベイサイドマリーナに於いて関東マリン事業協会主催の「2006フローティングボートショー」が開催されました。開催前日の秋の嵐から一転して3日間とも快晴に恵まれ、アウトレットモールを併設したベイサイドマリーナは多くの人で賑わいました。そんな中、我がトーハツは先日専門誌でも紹介したTF-26SCWのフル機装艇と新エンジンのMD115Aを

搭載したTF-235、SCを出展しました。TF-26SCWのフル機装艇は、一般客のみならず出展業者からも注目の的、オーナーさんのこだわりの機装が話題的でした。3日間を通して良い天気にも恵まれたおかげもあり、盛況のうちに閉幕しました。  
(マリン関東/飯島)

## 新西宮ヨットハーバーで関西フローティングボートショー トーハツ直噴MD115Aをアピール!

秋たけなわ。週末のマリンレジャーや家族ずれの行楽客で賑わう西宮市の新西宮ヨットハーバーを会場に、去る10月21日・22日、恒例の関西フローティングボートショーが開幕。ボートメーカー各社が最新鋭の試乗艇を繰り出して凌ぎをけずりました。

21日は、オープン初日とあって業界関係者が多数を占めたものの、翌日は家族連れでユーザーが大賑わい。中には「1時間後に来ますので、試乗予約お願いします」と言って、その間家族サービスに余念のないチャッカリユーザーもいて係員をあわてさせる一幕も。

トーハツ試乗コーナーでは、ご多分に漏れず直噴船外機MD115Aが大人気。ユーザーの質問も、「4ストに比べてTLDIの燃費どう?」などと、時世を反映して燃費問題が多く寄せられていました。また試乗後は、パワーと静粛さに感心するユーザーが圧倒的に多く、トーハツ係員を悦ばせました。

2日間にわたり事故もなく終了できたことに感謝したいと思います。なお関係者の応援有り難うございました。  
(マリン関西/川名)



### むかし 懐かしい トーハツ “ツインアロー号”

～思い出つきない～

#### (資) 古川ポンプ製作所一関支店の氏家 英二支店長

去る9月21日行われた東北ブロックの環境にやさしい4ストロークエンジン搭載のVF53AS発表会会場に、突如現れた昔懐かしいトーハツ “ツインアロー号” (写真)。実は特約店の(資)古川ポンプ製作所一関支店・氏家英二支店長が、発表会出席のためわざわざご持参頂いた粋なはからいでした。発表会にご参加頂いた特約店さんをはじめトーハツスタッフの面々も、この思い出深いオートバイにしばし感動。昔話に花が咲いた次第。とりわけトーハツの浜中専務は40年ぶりのご対面とあって、感慨もひとしお。早速ツインアロー号とVF53ASポンプを並べて記念撮影となりました。そこでこの度、氏家支店長からオートバイにかかわる思い出をお聞きしましたのでご紹介いたします。

同氏はポンプ屋修行のため、トーハツがまだ東京発動機と呼んでいた時代の昭和40年4月より6ヶ月、板橋の本社工場で研修されました。当時はVM型単気筒エンジンポンプの最盛期で10台の連続運転にもエンジン始動で引き綱を引っ張り続けたそうです。またポンプの組立てや修理の指導を受け、9月に研修を終えました。

古川に帰る際、当時の熊谷総務課長(現東京電波社長)を通じ1ヶ月前に購入したツインアローデラックス(昭和38年製125cc)に乗り、国道4号線を一路北上し帰られたそうです。濃紺の落ち着いたカラーとツインマフラーのオートバイで都内を走らせたことも、思い出として残っているとのことでした。

そのオートバイは3年ほど一関で乗りましたが、ライトバンの購入によりあまり乗らなくなったのを見て、毎日一関支店前を通勤していた知人から譲って欲しいと度々お話があり、そのツインデラックスを譲られたそうです。今思う



左から浜中専務、金成東北ポンプ会会長、氏家支店長

と往年の名車を手放した思いとトーハツの技術の粋を結集した製品の保存ができなかったことが惜しまれたと、氏家支店長は話されました。

それから40年後にインターネットにて昭和38年製LA-5型(ツインデラックスの前モデル)125ccツインアローを手に入れた氏家支店長。ツインデラックスへの思いと長年の願いが叶い、感激ひとしおのことでした。今回のツインアローを長く保存できるように、キャブレターの調整や色あせた車体にブルーの塗装をし直したり、メッキの剥がれたハンドルに再メッキを施したり、特にチェーンカバーの裏側のすごい錆を取りシルバー塗装をしたら見違えるようになり、10月にはナンバー登録し公道を走れるようになりました。

パートナーでご紹介することで、代理店さんの間にもトーハツ製オートバイのファンが増えますことを期待しつつ取材させて頂きました。

(防災東北/小野寺)

# 中部ブロックでTLDI115Aなど技術講習会

紅葉が色づきはじめた南アルプス山麓・長野県駒ヶ根市のトーハツマリン(株)内で、去る11月7日/8日、マリン中部ブロックの販売店向け技術講習会が開かれました。今回は、期待のTLDI115Aや好調なEF125/30の講習会とあって、参加販売店数も多く24店、総計31名の大講習会となりました。

講習内容は、単にマニュアルを順に説明するといったものではなく、実践的な技術サービスに欠かせないトラブルシューティングを最重点に、座学と実技で

研修。「現場で即実践できる内容なのでありがたい」などと、販売店さんの声が多く聞かれました。

また夜には温泉に浸かって疲れを癒し、更に懇親会で互いに交流を深めるなど、充実した2日間を過ごしました。今後もマリン中部一同、販売店さんと一致協力してより良い技術サービスと拡販に勤めたいと思います。この度は大変お疲れ様でした。

(マリン中部/宮川)



## 茨城県の涸沼でミニボートフェスティバル2006

ミニボートの良さを多くの人達に知ってもらおうと、去る11月25日、茨城県・涸沼湖畔の涸沼ヨットハーバーで「ミニボートフェスティバル2006」が開催され、肌寒い日和にもかかわらず家族連れや釣りファンが引きも切らさず訪れました。

このフェスティバルに参加したゴムボートメーカーのアキレスでは、自社のミニボートにトーハツ4ストロー



ク「MFS2A」を搭載し体験試乗艇として臨みました。同MFS2Aはミニボート対応用に開発された船外機だけあって、これがなかなかの評判。試乗希望者続出にスタッフも思わずにっこり。

また体験試乗コーナーの桟橋には、他社の免許不要艇がずらりと並び、いずれもマーキュリー2サイクル2馬力セット艇が大半を占める中、トーハツ4サイクル船外機MFS2Aは、パワー&操作性で存在感を際立たせていました。

(マリン課/三好)



## 佐渡島の春川商会が地元産業祭に出展

佐渡金山として有名な新潟県・佐渡島にあるマリン商事のサブ店・春川商会では、去る11月26日行われた地域の産業祭に参加。船外機などを多数出展しました。

トーハツでは、MFS9.8A3、MFS25Bを展示。冬目前の展示会とあって集客面が心配されましたが、オープンとともに地元漁業者など多くのユーザーが来場。4スト25馬力が、同クラス唯一のEFIということもあって早々から注目を集め、活気に溢れた展示会になりました。また軽量の4スト9.8馬力も好評で早速ご成約いただくなど、盛況裡に終了しました。

(マリン課/榎本)

## 福島県の西会津町消防団ご一行 トーハツ駒ヶ根工場を見学

渡部 修氏を団長とする福島県・西会津町消防団ご一行が、去る11月21日、南アルプスの美しい雪景色が望めるトーハツ駒ヶ根工場に見学のため来訪。大歓迎を受けられました。さっそく大会議室に迎えられたご一行は、トーハツマリン十倉総務課長から工場の概要や会社概要、更に防災営業部よりトーハツ可搬消防ポンプの製造過程や同ポンプの歴史などの説明を受けられ、この後工場見学に移りました。

最初は船外機の完成検査を見学。続いてポンプ製造責任者・松原課長の案内で、ポンプの組立て、運転検査など、生産ラインの流れを見学。省力化とISO9001による管理体制から生まれるトーハツポンプの信頼性を実感して頂きました。

工場内見学の後は、屋外で4ストロークVF53ASと自動中継ポンプV20ES-Rの運転デモンストレーションを見学。とりわけVF53ASの静粛さにご一行は感心。また同モデル2機による中継送水では、V20ES-Rが無人の状態でも自動的に水が来るとエンジンが始動し、最適圧力ポンプが自動操作。その仕組みと機能に、思わず感嘆。「団員の高齢化による減少、省力化に貢献する」といった内容の話も聞かれ盛り上がりしていました。

コースの見学を終えたご一行は、最後に冠雪した南アルプスをバックに記念撮影。見学会を終了しました。なおこの度、西会津町消防団にトーハツ駒ヶ根工場をご紹介くださった会津消防用品(株)様には厚く感謝申し上げますと共に、西会津町消防団ご一行様の今後のご活躍を祈念申し上げます。(防災営業部/青山)



## 防災関連展示会へ出展ラッシュ! 救急・救助 災害対策用資機材を展示

10月：東京で2006危機管理産業展。11月：さいたま市で消防・救急・防災フェア。そして12月が、東京で全国消防救助シンポジウム等々、ほぼ毎月のように新規取り扱いの機材出展が行われています。

その主な商品は、新製品で国産初の4ストロークエンジン・ポンプ「VF53AS」をはじめ、農業・重金属類も濾過可能な「逆浸透膜方式浄水器」、ハンズフリーの熱画像直視装置「ナビゲータ」、更にDMAT、日赤病院などで実績のある陽圧式「TST防護服ユニット」、そして床面不要で軽微な損傷でも倒れないエアータント「クリーンシェルタ」など、全て画期的な商品をご紹介することができ、各方面へアピールすることができました。

今後も皆様のお役に立てる商品の提供を目指す所存ですので、更なるご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。(防災営業部/友田)



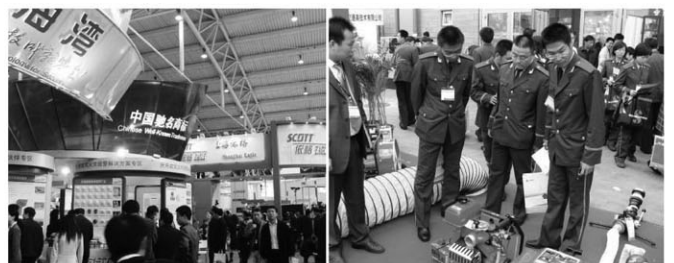
## 北京防災展にトーハツポンプ出展

10月26日から29日まで、北京の全国農業展覽館新館で第11回中国国際消防設備技術交流展覧会(China Fire 2006)が開催され、新しく完成した新展示ホールをメイン会場として、また屋外スペースには内外の消防車メーカーの車両などが展示されました。

今回の展示会では、過去と比べ海外からのビジターの多さが目立ち、中国ローカル企業のブースでは買い付けに訪れたこうした外国人との商談が活発に行われていました。今までは、これほど多くの外国人を目にすることがなく、どちらかと言えばローカルの展示会という風景でしたので、中国製品の品質が着実に向上し、中国企業の国際化も同時に進展しているのを実感

することができました。

トーハツブースでは、若手を中心とした制服姿の消防関係者が多数来場し、旗艦モデルのVC82には、とりわけ強い関心を示していました。(防災営業部海外/田澤)



# MDシリーズトップモデル

# MD115A

## TLDI

DIRECT INJECTION



「コンパクトなスタイル」と「胸のすく加速フィーリング」で、定評あるトーハツ船外機に、次代が求める「クリーン&エコノミー」という新たな価値観をプラスした「TLDIシリーズ」エンジンの各所に配されたセンサーからの情報によって刻々と変化する運転条件に最適な燃料噴射の指令を下す32ビットのECU(Engine Control Units)を有する次世代の直噴船外機。EPA(米国環境保護庁)・日本舟艇工業会自主規制の定める排気ガス規制をクリアしています。

●TLDI(直噴)  
筒内直接燃料噴射方式



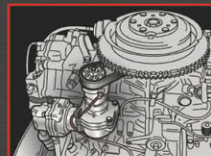
各種のセンサーからの情報とECUの命令に従って、直接気筒内に燃料を噴射して「クリーン&エコノミー」を高次元で両立するための技術です。

●TLDI専用ピストン



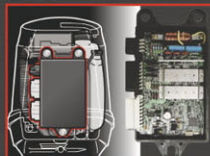
TLDIのために開発された「凹形状」のホールがデザインされたピストンによって燃焼効率が飛躍的にアップ。

●エアーク ompressor



エンジン駆動力によって、常に安定した燃料噴射を実現するためのTLDI船外機の心臓部。

●ECU



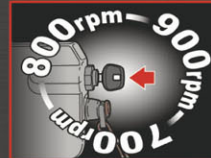
TLDI船外機の燃料噴射量・タイミング・点火の時期をコントロールする32ビットのエンジン・コントロールユニット。

●自己診断機能付タコメーター



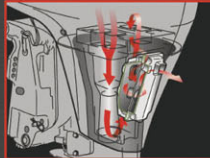
指針と3連警告ランプの組合わせによって、船外機の故障箇所や履歴を表示します。(外部接続のパソコンなどを必要としません)

●ブッシュ式トルローリングコントロール



キースイッチの操作で、アイドル回転を3段階に切替が可能。潮の流れや風向き等の状況に応じたトルローリングスピードを選ぶことが出来ます。

●低騒音システム



アイドル時の排気音を低減して、静かで快適なトルローリングを実現しました。

写真は仕様と一部異なる場合があります。

掲載されている船外機は国土交通省の船舶安全法に基づいた船外機認定事業場で生産されております。



## 発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-2951

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 若林 弘/小山 将